

あすの調布

12月号



写真：12月第2例会 卒業式
クレストンホテルにて

例会報告II

10月第1例会(40周年記念式典)

(社)調布青年会議所の創立40周年を迎え、周年の実行委員長をさせて頂き、その役の重さを感じずにはいられませんでしたが、しかし、それと共に歴代理事長の皆様方にお話しを伺い、私達は40年間の想いの積重ねの上にいるのだと強い感動と感謝を感じずにはいられません。私自身、頂いた役割を全う出来たとは思っていませんが、今の現役メンバーだからこそ出来る、皆の個性が輝いた最高の40周年記念式典・祝賀会であったと私は思っています。私はそんな最高の仲間と一緒にいたことに心から感謝しています。文字数の関係上、ご協力頂いた全ての方に対して感謝の言葉を述べる事が出来ませんが、本当に、本当に：有難う御座いました。

40周年実行委員会 実行委員長 三ツ木秀章



10月第2例会(TCI)

去る10月30日に行われた「相手を理解し、相手を支援できる地域経済人へ」は台風という悪天候にも関わらず、多くのメンバーにご参加いただき、本当にありがとうございました。一年間を通じ、「気質」「性格」について学んできました。3月はわたし、10月はあなたのそれらを学ぶことから、上手にコミュニケーションをとる手法までを一連のなかで、伝えたかったので

す。もちろんいずれも一両日で身に着けることは難しいことだとは分かっていますが、ツールを提供することで、目に触れるたびに思い出してもらえればと、丹精込めてみんなで作成いたしました。

最後に、一年間、当委員会をバックアップしてくださいました、(株)ニューマンキャピタルコンサルティングの川崎社長はじめ、社員のみなさま、そして、通称OYAKATAこと日比靖仁先輩、小田先輩に出会えたことも委員全員の励みとなりました。なにより、リーダーシップというより、突っ走ってしまったこんな私に付き合ってくれたメンバーのみんな、本当に最後までありがとうございました。

人間力向上委員会 委員長 高橋裕二



11月第1例会(市民討議会)

11月10日(水)、14日(日)の2日間、国領あくろす3Fにおいて「ちようふ市民討議会2010」を調布市と共催で実施いたしました。今回の市民討議会は2回目ということもあり、実行委員会立ち上げの段階から多くの市民公募の方々に参加して頂き、また無作為抽出市民の参加率も昨年を上回る結果となりました。両日では市民参加者81名のご参加を頂き、開催2日間で2つのテーマ「東京国体を盛り上げるために私たちに何ができるか?」「調布のPRも兼ねて」・「10年後、調布をどのようなまちにしたいですか?」について討議を行いました。最初は緊張の面持ちの参加者の方々がでしたが討議が進むにつれて、大変熱のこもった意見を多く出して頂き、終始明るい雰

囲気の中で貴重な意見を頂戴することができました。また、メンバー向けの討議会も14日(日)に別室で行われ、市民討議会の手法を知っていただくよい機会になったのではないかと思います。今後の予定としては、討議した結果を考察し、中間報告会1月15日(土)を経て、報告書にまとめ調布市長へ提出・提言(平成23年3月予定)するのが実行委員会の流れとなっております。討議会実施は折り返し点であり、これからが事業の終着点へと向かっていきます。参加者の方々の貴重な意見を行政に届けてこそ来年に繋げることが出来るのです。最後に開催当日までに関係各位の皆様方に多大なる支援を戴きましたことをこの場を借りて厚く御礼申し上げます。特にメンバーの皆様本当にありがとうございました。

市民討議会実行委員長 富沢進太郎



11月第2例会(調布市子育てフェスタ)

青少年事業として本年度は青少年健全育成の基礎となる、乳幼児、就学前児童とその保護者を対象として事業を実施いたしました。当日はおよそ150組の親子にご参加をいただき、ハイコンテストや3年後に届く「未来への手紙」など、現在の子どもに対する愛情がこれからもずっと続くようにといった想いを込めて企画、実施いたしました。また、市内で活動している多くの子育て支援団体にご参加くださり、日頃の活動紹介や、読み聞かせ、親子ダンスなどが披露され、大いに事業を盛り上げていただきました。今まであまり関わりがなかったこうした団体とのつながりを今後も大切にしていこうと

て、(社)調布青年会議所の活動の輪が更に広がればと思います。
 今回ご参加いただいた親子、特に保護者の皆様には本事業をきっかけとして、親子の愛情を再確認していただければ幸いです。

輝け！青少年委員会 委員長 鮎川有祐



12月第1例会(第42回通常総会)

12月7日(火) 調布市市民プラザあくろす 3階ホール1・2
 において第42回通常総会を開催いたしました。最高意思決定機関として、計7議案の審議を頂くにあたり、9月の臨時総会を反省材料にリハーサルを行いました。皆さまと綿密なりハーサルを行った結果、何とか緊張感を保った総会ができたと考えています。(渋川議長ご協力ありがとうございました。)

2部の出向者報告においては山本塾長、小峯委員長、新國委員長から「この1年間出向して得たもの」と題して貴重なお話を頂き、その後、渡邊理事長の仕切りで武蔵府中J.Cの渡辺様をお招きして、公益のお話をして頂きました。

今後のJ.C活動を行う上でメンバーそれぞれ参考になったと思います。
 皆さまありがとうございました。

総務ネットワーク委員会 委員長 小山晃一郎



12月第2例会(卒業式 納会)

12月14日に調布クレストンホテルにて、卒業式・納会を致しました。

多くのメンバー・シニアクラブの先輩方にご参加頂き開催致しました。

今年度は、11名の卒業生に、今までのJ.C運動に、感謝の気持ちを込めて、私達委員会メンバーは、5カ月間掛けて何度も、何度も委員会や小委員会を開催して行くたびに、責任感やフォローする絆がより強く深まりました。

第一部卒業式では、皆で一生懸命に作成した映像をバックに、笑いあり涙ありの中、今までの想いを語っていただきました。

第二部納会では、まずは、アトラクション 委員会内でも一番力を入れていたような気がします(笑) どうでしたか?

「調布J.C裁判」映像など取り入れ一体感また飽きないアトラクションが出来たと思います。11名の卒業生のみなさんご協力ありがとうございました。

LOM褒賞では、当委員会より2名も賞を頂き、また最優秀グループ賞までも頂きました。

この賞は委員会メンバーが今年一年間、責任感を持ち自分のため人のために行動したからこそ頂けた賞だと、思います。

和☆拡大交流委員会の皆さんありがとうございました。

渡辺理事長最後のスピーチ、今年度を振り返る映像を見た後のご登壇

理事長からメンバーに送る一年間の「感謝と共に新たな一歩」大変気持ちのこもった最後のスピーチとなりました。

ご参加頂きましたシニアクラブ先輩方そして多くのメンバーの皆様ご協力ありがとうございました。

和☆拡大交流委員会 委員長 堀 善一



特集

1年間を振り返って

感謝と共に新たな一歩

く個々の勇気から得る、たしかな変化の実感く



シニアクラブの先輩の皆様、そして現役メンバーの皆様、1年間本当に、本当にありがとうございました。2010年度社団法人調布青年会議所並びに同シニアクラブ合同新春地域懇談会から本格的にスタートし、わんぱく相撲東京都大会、そして40周年記念式典のPRで東京中の全ての賀詞にメンバーと一緒に回ったことが、昨日の事のように思えます。PRもただPRするのではなく、三ツ木委員長、川端副委員長、原島副理事長がまわしを締め相撲を取り、調布で開催するわんぱく相撲東京都大会は例年開催の東京都大会とは違うぞ！という気持ちを東京中のメンバーに伝える事が出来たと思います。

本年度は、わんぱく相撲東京都大会実行委員会、40周年実行委員会という実行委員会組織を作り、出向メンバーには各委員会から掛け持ちで組織に入っていました。実行委員会に参加し多くの事を学べたメンバー、中々参加出来なくて学びを少ししか得られなかったメンバーも今後10年以上東京都大会を調布で開催することが無いからこそ、得た学びの知識を次の

メンバーに継承して頂きたいと思います。

そして、40周年実行委員会では、実行委員会で計画していた事業の挫折など様々な出来事があり、多くの学びを得られたと思います。挫折があるから次があり、挫折があるから新たな決断をし、次に向かっていくことの大切さを学べたのではないのでしょうか？私もJCに出会い、様々な事業で挫折を味わいました。挫折の先にある新たなチャンス！そのチャンスを掴むために今まで以上の努力と時間をメンバーと使い、より良い事業へとして変貌させることが出来たことを、その時に思い出しました。これからのJC運動の中でも様々な挫折をメンバーの皆様も味わっていくことと思います。挫折にあったときはチャンスが来た！この言葉は忘れないで頂き、後輩たちに継承していただきたいと思えます。



最後に、毎日がJCで専務と一緒に色々な場所に行き、様々な人と出会いそして語り、私自身個の成長を得られた年でありました。辛くて心が折れたことも何度もありましたが、専務の泣きながら頑張っている姿が私の折れた心を矯正してくれました。残り4年の現役生活でどこまで、支えてくれた皆様に恩返しを出来るかわかりませんが、卒業まで日々邁進していくことをお誓いし、1年間の振り返りの文章と代えさせて頂きます。

2010年度(社)調布青年会議所
40代理事長 渡邊弘樹



全国大会

去る9月29日(木)～10月2日(日)、第59回全国会員大会小田原・箱根大会が行われ、調布メンバー総勢30名とともに参加してまいりました。個人的に初めて「全国大会」へ参加しましたが、我々調布から日本JCの新國委員長が出向している事や、車でも行ける距離での全国大会という事で、稀に見る参加者の数だったようです。引率者としても、この参加者の数は嬉しい

限りでした。

そしてなにより1番の朗報は、3年連続の褒章受賞でしょう！素晴らしい！ファンタスティック！

「地方自治・行政関係部門」において、DIG(災害図上訓練)の事業が見事優秀賞を受賞したのです。授賞式には立ち会えませんでした。これは、立ち会ったメンバーの興奮がすぐに伝わってきました。これは、昨年の拡大交流委員会メンバーがしっかりと事業を作り上げた賜物、そして今年度以降の継続事業として積み上げてきた結果だと思えます。この調布JCというロムに所属している事に対し、改めて感謝と誇りを感じた瞬間でした。式典では特別ゲストに河村隆一氏が登場するなど、サプライズもあり、壇上に溢れんばかり(実際溢れてました)の全国JC卒業生が集う卒業式と盛りだくさんでした。参加された卒業生の皆さんからは、良い卒業式に参加できた！というコメントもいただきました。

褒章を取ったこともあり、夜も大盛り上がり。少々個人的にご迷惑をかけましたが、多くのメンバーとともに素晴らしい一夜を過ごすことができました。

まだ全国大会の経験が無い方も多くいらっしゃると思えますが、是非とも一度体験してみたいかがでしょうか。来年は日本「の中心地」名古屋での全国大会です。

最後に、参加した多くの調布メンバーの皆さん、拙い引率でしたが、色々な面でフォローいただき本当にありがとうございます。

副専務 菅 寛人



出向者報告

東京ブロック協議会

アカデミー研修委員会

閉校式

今年(社)調布青年会議所に入会し、アカデミー研修委員会に出向した加藤です。

10月8日(金)八王子の京王プラザホテルにて一年間の集大成、アカデミー研修委員会「閉校式」が行われました。

当日は調布からも多数のメンバーが応援に駆け付けてくれて、とても嬉しかったです！

第一部の司会を渋川さん、第二部は私ともう一人の塾生で司会を務めさせて頂きました。

アカデミー生で閉校式実行委員会を作り、第二部の設営、委員長や塾長へのサプライズを考えました。各塾で映像を作り披露したのですが、柴田君は三塾から編集を頼まれて、非常に大変だったと思います。

飯田文字委員長の「女子会作って！」の一声で、アカデミーで女子会を作り、女子会からのサプライズで「AKB48」ではなく「JCI48」として踊りました。年齢的にかなり無理があつたと思いますが、楽しかったです！

「LOMだけでも忙しいのに、アカデミーにまで出向して面倒くさいな」と思う事もありました。ですがJCについて学び、町田から小田原まで歩くという普通では考えられない経験をさせて頂くなかで、考え方が変わっていききました。

終わってみると楽しい思い出ばかりです。かけがえのない仲間もたくさんできました！

アカデミーに出向して良かった！と心から思います。

最後に、LOMの委員会も塾も同じだった山田君、色々面倒みてくれてありがとう！

山本塾長・渋川運営幹事、一年間本当にお疲れ様でした！楽しいアカデミーをありがとうございました！！

☆拡大交流委員会 加藤百恵

私は、2010年度(社)日本青年会議所 関東地区東京ブロック協議会 結ぶ絆・交流渉外委員会という所へ出向させて頂きました。

事業内容は、ブロック賀詞、交流事業(フットサル大会)、さよならブロック等。かなりイベント系の委員会です。ちなみに委員長はといていますと、(社)武蔵野青年会議所2011年度理事長の 石井君です。中高一緒 業界も一緒の建設屋さんです。(最近ロムメンバーと結婚しました！かなりのやり手です。)

最近ロムメンバーと結婚しました！かなりのやり手です。(最近ロムメンバーと結婚しました！かなりのやり手です。)

で！思い出に残った事業と致しましては、なんととっても交流事業のフットサル大会ですかね。調布JC NO1ですから。実力はやはり想像通り。ずば抜けて無敵艦隊でした。しかし、あのお揃いユニホームほんともったいなくないですか？？齊藤さん(笑)

とにかく渉外系委員会は、楽しいですよ。というより自分にも書いていたのかも。もしチャンスがあつたら皆さん出向して見て下さい。2011年度は、ももたろうが副委員長として出向するんだよね。自己啓発！頑張って成長してきて下さい。専務理事としてしっかりサポートするからね。



結ぶ絆・交流渉外委員会

副理事長 松永和磨

副理事長 松永和磨

副理事長 松永和磨

副理事長 松永和磨

副理事長 松永和磨

副理事長 松永和磨

副理事長 松永和磨

副理事長 松永和磨

副理事長 松永和磨

副理事長 松永和磨

副理事長 松永和磨

副理事長 松永和磨



ばか盛り対決

管君のぶらり食べ歩き

こんにちは。副専務の菅です。

6月号に引き続き、私のコーナーを設けていただき光栄です。というか、記事が足りないから無理やり設けてるのでは？という感も否めない・・・記者に殴られそうなので、早速食べ歩きの報告をしましょう。

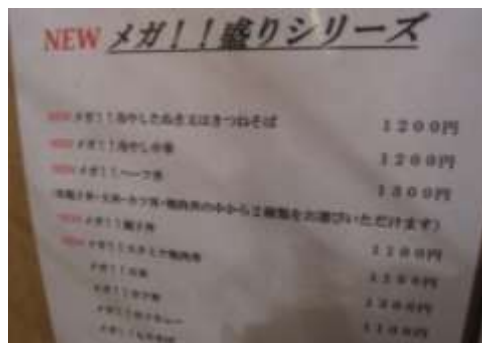
先日、記者の齋藤喜兆君に「ご飯おごってあげるから付いておいで」と仕事中心である私を無理やり連行昼食へ誘っていただきました。

羽交い絞めにされて連れていかれた到着したのは、布田の「若松屋」。

記者曰く、おすすめメニューがあるとの事。と、記者の視線の先には・・・「メガ!!!盛り」の文字が。こ、これですか？

深くうなづく記者。説明を読むと、「量が通常の約4倍!30分以内に一人で完食出来たらランチ無料券進呈」の文字。よ、4倍!?!不安げな視線を送ると、またもや深くうなづく記者。待て待て? 「完食出来ない場合は課金(500円)」ですって!?!

こりゃなんでも無茶がありますよ。この細身の体のどこにもそんな収納スペースはありません！しかも、完食した人、いままで二人しかいな



よ！？
すると記者が力強く放った一言、「ヒロトなら出来る！」
そして続けざまに、「カツカレー一つ下さい。メガ盛り

で！！」
・・・死亡決定。
そして・・・ついに姿を現したメガ盛り様。

記者が冷やかしかしに呼び出した何故か応援に駆け付けた鳩山隆史君とともにそのお姿を拝見。

デカイ！デカすぎる！こんな皿自体見た事ないですが？ちなみに、みそ汁もデカイ（ラーメン一人前レベル）ので目の錯覚を起こしそう。



早速一口。う、ウマイ！スパイスがしっかりと効いていて、旨みがガツンと口に飛び込んでくる。一口食べると止まらなくなる味に、意外と食べれちゃうのでは？という妄想すら浮かんで・・・来ませんでした。

不乱にメガ盛り様を胃腸に流し込む。自分とは無関係を装う、素敵な後輩を持った自分に虚しささえ感じながらの昼下がり。私は何をやっているのだろうか。

そして、また一人冷やかしかしに、記者に呼び出された応援に駆けつけてくれた和田副委員長。応援しないで、手伝ってもらえませんか？「俺、定食頼むから。」あ、そうですか。勝手にして

下さい。またも自分とは無関係を装う、素敵な先輩を持った自分の半生を振り返り後悔。

そしてついに・・・



ギブアップ！

課金も払いますから許して下さい。懇願の視線を記者に送ると、意外にもOKとの事。良い写真が撮れたからもう良いんですって。へー。



この日、夕飯を食べられなかったのは言うまでもなく、トイレに何度も閉じこもる菅君でした。(汚くてすいません) 今回も食べ歩きとあまり無関係だったと思うのですが、記事の穴埋めになりましたか？皆様に楽しんでいただける記事になっていればこれ幸いです。

おまけ

和田副委員長が頼んだ、「大えび定食」。これもこのお店の目玉だったようで・・・
海老がデカすぎる！
和田君、食べ物で遊ばない様に。



お世話になったお店
「若松屋」
東京都調布市国領町1丁目1
3-4 旧甲州街道沿い
042-482-2491

記者・・・斉藤喜兆
代筆・・・菅 寛人
応援・・・和田勝幸、鳩山隆史

俺の自慢

俺の自慢⑦

山登り

和☆拡大交流委員会 畑野政大

東京で一番高い山は何mあると思いますか？高尾山でさえ599mしかありません。

なんと東京にも2000mを超える山があるのです。奥多摩街道をひたすら進んだ東京、山梨、埼玉にまたがる県境に雲取山という2017mの山があるのです。自分は東京に長く住んでいるのに雲取山を最近まで知らなかったことが大変悔しく、すぐに登りに行きました。頂上から眺める首都東京にはとても感動しました。

辛い登山を繰り返しようと思う気持ちがなぜ湧いてくるのかは、今でも実はわかりません。ひたすら頂上を目指すために歩いて、そして疲れ、体は痛くなるし、なぜ登るのか？と思われませんが、一つ言えるのは、登山は自分の足で一つ一つ登っていかないと頂上には着きません。そして自分の足で降りないと帰れません。人の助けがあっても自分で一歩づつ踏み出さないといかないと頂上にはいきけません。自分自身の力でないと頂上にはいきません。あとは挑戦というのが好きなのかもしれません。これからこの山を登ってやるといふ目標を立て、頂上に登りついたらときの達成感は最高です。頂上に着くと今までのつらい道のりは忘れ、綺麗な景色を見て、頂上で弁当を食べ、ビールを飲む喜びは普段何気なくあたり前のように食べているものがよりおいしく感じられ本当に最高です。

先日、最近手軽で簡単に登れると言われて人気の高尾山へ登ったのですが、頂上まですべてアスファルトで登れる道であったため本当に手軽すぎてあまりにも物足りなく、頂上からそのまま陣馬山方面へ向かったのですが、これが初心者にはとても

お勧めで木々の中でマイナスイオンを感じながら登山ができます。意外に遠いように思える相模湖あたりまで気軽に歩けるのでお勧めです。是非行ってみて下さい。

失敗談をひとつ。

過去に富士山には数度登っているのですが、友人数人と富士山へ登ることになり、通常ポピュラーなのは山梨側から登るルートでその時も山梨側から登り始めました。頂上まで7時間くらいかけ到着し、いくつかある下山ルートのうち、砂の坂道を2時間位で降りれる楽しい砂走りルートを選択しました。友達を楽しませようとこのルートを選んだのですが、ついこのルートが静岡側に着いてしまうのを忘れていて、着いてから車が山梨側にあるのを思い出し大変な事態になっていました。さすがにまた頂上まで登る元気はないので最終的にタクシーで数人山梨側に行つて車をとつてきて静岡側に来てもらいました。山梨側まで2時間、トータル4時間も静岡側で待つことになり、夜になってきて寒くなつてくるし、周りに何もなかったひたすら待つのみ。

あぐくのはてにタクシー代は2万円近くかかるし友達からは大ブーイングでした。

しかし、結果的に思い出にも残つたしとても楽しかったです。そのほかお勧めするのは屋久島です。もちろん縄文杉が目的です。

縄文杉を見るためには往復10時間近くあるかなければならぬのですが、途中まではトロツコレールの上を歩きます。そしてサルや鹿など自然動物に頻繁に出会え、自分の何倍もの太さの大きな屋久杉に出会い、とても時間が過ぎるのがはやくあつという間に縄文杉までついてしまいます。縄文杉に到着したときはスケールの大きさに圧倒されてしまいました。

是非とも大量のマイナスイオンの体験できる癒しの空間に訪れてみて下さい。

自身を持つてお勧めいたします。

なにげなく始めた登山ですが、山に登ることによって自分にプラスになることがたくさんあることに気がつきました。忍耐力、協調性、達成感、そして何より体力！健康な毎日をおくるため、明日の活力を手に入れるため、皆さんに是非とも登山をお勧めいたします。



山登りをするときには是非声をかけてください。一緒に登り、な

んとも言えない感動を共感しましょう！
皆さんも簡単などころからで構わないので挑戦してみてください。



この件に関するお問合せは

総務ネットワーク委員会 小山まで

俺の自慢⑧

JANZバンド

あなたと私のまち委員会 嵐 祐子

数年前、企業のビッグバンドでトランペットを吹いていました。ペレスプラードや東京キューバンボーイズ、カウントベイシーにグレンミラー、時には演歌やポップスまで。ラテンバンドでしたが、依頼があればなんでもやりました。

横浜ジャズプロムナードというイベントに参加して、桜木町にあるドッグヤードガーデンで演奏したことはいい思い出です。国内外のプロミュージシャンを招致して開催するビッグイベントでしたので同じステージに立ててとてもうれしかったことを覚えています。

毎年恒例のダンスパーティーで伴奏することもありました。スウィング、マンボ、ルンバにジャイブ、そしてワルツやチャチャなど休むまもなく演奏します。30分×2ステージ。ホールでは何十人もの方が踊っています。万一曲が消えてしまえば踊りも止まってしまうので必死です。特にダンスナンバーはリズムが早く高音を鳴らすことも多いため頭に血がのぼり、唇の感覚がなくなつていきます。緊張感も高くて過酷な行事でした。

でも現在トランペットは完全にお休み中です。練習場所も限られる上(自宅で練習できる専用の消音器はありますが楽しくありません)時間を確保する優先順位が低くなっています。またいつか再開したいと思いつながら、今はオーディエンス専門。バーチャル(笑) 5.1chサラウンドで楽しんでいきます。



この件に関するお問合せは

総務ネットワーク委員会 中島まで

ソネット偵察隊

FC東京サポーター 決戦の日

11月27日土曜日

11月27日土曜日、国領ではハイハイレースという闘いが繰り広げられていたあの日、味の素スタジアムでも「残留争い」という絶対に落とせない闘いが繰り広げられていた。当日一緒に観戦したのは川端宏志君、東京J.C中央区委員会所属の藪野美芽君、川端君の義理のお兄様と甥っ子、わたくしの友人である山本君といういつものメンバーとスペシャルゲストとして小山委員長、和田委員長、松永副理事長という豪華ラインナップ?で観戦をいたしました。



勝てばほぼ残留が決まるこの日、スタジアムにはいつもと違う、

味わったことの無い雰囲気を感じていた。それは例会後の懇親会です。いい感じになっていたせいではなく、「残り2つのうち1つ勝てばいい」というどこかでまだ、「俺たちは大丈夫」という気持ちがあったのかもしれない。少なくとも自分の中には。

試合は後半に平山のゴールで先制するも、終了間際に追いつかれ引き分けで終わる。まだシーズンが終わったわけではないのに、選手にもスタンドの我々にも燃え尽きたような感じは出ていた。

ご存知のとおりFC東京はJ2に降格をいたしました。まちな人達からは厳しい声が増えてきております。ですがJ2での一年をしっかりと戦い抜きJ1へ戻ることで、より良いクラブへと変貌を遂げるまたとないチャンスでもあります。こんな状況であるからこそ、来年は今まで以上に **cool & passion** でサポートをしていきたいと思っております。

こんな暑苦しい我々と一緒に観戦をご希望の方は、いつでもお気軽にご連絡ください。

ホームゲームの出席率は例会出席率よりも高いですから(笑)
和☆拡大交流委員会 山田啓二朗



cool



passion



LOM褒賞

2010年度 褒賞受賞者一覧

優秀新人賞・・・清水 崇司(しみず たかし)

優秀新人賞・・・中島 茂雄(なかじま しげお)

最優秀新人賞・・・加藤 百恵(かとう ももえ)

優秀 JAYCEE賞・・・山田 啓二朗(やまだ けいじろう)

優秀 JAYCEE賞・・・長谷川 正(はせがわ ただし)

特別賞・・・富沢 進太郎(とみざわ しんたろう)

理事長特別賞・・・柴田 実久(しばた じつひさ)

理事長特別賞・・・伊東 和隆(いとう かずたか)

最優秀賞 JAYCEE賞・・・和田 勝幸(わだ たかゆき)

最優秀グループ賞・・・和☆拡大交流委員会

優秀グループ賞・・・該当なし



編集後記



(社)調布青年会議所メンバー及びシニアクラブの諸先輩方、最後まで「あすの調布」をお読みいただきありがとうございます。今年も残す所あとわずかとなり、あつという間の一年間でした。我々総務ネットワーク委員会が、「あすの調布」を通して皆さんの活動を皆様に紹介してきましたが、いかがだったでしょうか？事業の写真撮りや「あすの調布」の記事原稿依頼を受けてもらい、たくさんの方々のご協力で一年間通しての活動を終えることができました。心より感謝申し上げます。来年は原島次年度理事長の下、新しい体制で、メンバー一丸となって様々な活動に取り組んでいきます。

総務ネットワーク委員会 中島茂雄
住友宏

あすの調布 2010年度 12月号

発行 社団法人 調布青年会議所 〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1-5-9 電話・ファックス042(485)9630

編集 総務ネットワーク委員会

委員長 小山晃一郎・副委員長 和田勝幸・運営幹事 堀内信宏・会計幹事 榎本陽介
委員 栗原廣貴・齋藤喜兆・佐藤美和・佐藤優・住友宏・中島茂雄・村澤健太